

パレスチナ西岸地区ジャマインにおける 廃棄物の再利用を通じた 地域循環型農業モデル形成事業

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町1-7-11
電話:03-3253-8990
E-mail:office@parcic.org
http://www.parcic.org



ひろげる助成

2年目

実践



完成した簡易堆肥舎

生ごみ堆肥づくりに
参加した世帯 **65世帯**

環境クラブで実施した
ワークショップ数 **21回**

今年度計画の達成度 **95%**

活動の全体目標に対する
達成度 **64%**

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

家庭での生ごみの一次処理で、他のごみとの分別を徹底していない、水切りが不十分、床材と混ぜていないなどの世帯が多かった。

■ 工夫した点

生ごみの回収を担当する農家組合やスタッフが一軒一軒訪問し、一時処理方法を再指導したところ、分別について改善が見られた。

課題

占領下で物流が不安定かつ空地へのごみの集積が深刻な当地において、生ごみを用いた有機堆肥による作物栽培を通して、ごみ減量と環境意識醸成、循環型社会形成を目指す。

目標

パレスチナ西岸地域で廃棄物の再利用を含む地域循環型農業のモデルが形成される。

活動内容と成果

● 中等学校の生徒28名が環境クラブに継続参加し、生ごみを用いた有機堆肥作りやワークショップを通し、有機農法や3Rについて学んだ。● 堆肥舎が完成し、稼働した。2,600ℓの堆肥を作成した。● 三重県の堆肥育土研究所よ

り講師を招き、床材入りのボックスを使った各家庭での生ごみの一次処理の方法、堆肥センターでの二次処理の方法について学ぶワークショップを開催した。● 環境クラブの28名、農家、住民の65名が生ごみ堆肥作りに参加し技術を習得するとともに、堆肥作りを通して、生ごみの有用性を体得的に学んだ。



床材・生ごみ堆肥づくりの実習

今後の展望

生ごみ回収の効率化と有機堆肥の生産拡大、販路開拓が課題である。そのために、作業効率化を助けるシュレッダーや資材攪拌ローダーなどの機械を導入するとともに、周辺住民および近隣農村への啓発活動に力を入れる。